

損害賠償論 —更なる研究—

〔目次〕

●ご挨拶	日本弁理士会中央知的財産研究所 北村修一郎	i
●序文	主任研究員 高林 龍	iii
●研究部会研究員		iv
<hr/>		
・ 特許権侵害による損害額の算定 —特許法 102 条 1 項を中心に—	三村 量一	1
・ ごみ貯蔵機器事件知財高特判平成 25 年 2 月 1 日と特許法 102 条 2 項の適用範囲	飯田 圭	10
・ FRAND ロイヤルティの算定 —理論と現実と—	田村 善之	24
・ 損害論からみた特許権侵害に基づく損害賠償	森田 宏樹	38
・ 複数の発明に基づく損害額の算定	黒川 恵	65
・ 特許侵害に対する損害賠償請求の訴訟物, 信義則, 時効中断 —一部請求の法的効果を切り口として—	飯塚 卓也	75
・ 米国における弁護士報酬の請求について	小林 一任	90
・ ドイツの特許訴訟における損害賠償の現状	加藤志麻子	100
・ 日本弁理士会中央知的財産研究所 第 14 回公開フォーラム 「損害賠償論 —更なる研究—」	飯田 圭	111
	三村 量一	
	高林 龍	
	田村 善之	
	加藤志麻子	
<hr/>		
●事項索引		159
●判例索引		160
●アンケート		161